

## 目標達成計画

作成日：平成22年3月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |   |  |            |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 33   | 現在重度の利用者がなく重度化や終末期に向けての方針を立ててないが、今後長期で入居している利用者の重度化が増えてくると思うので、今から重度化や終末期に向けての方針や対応を考える。  | 入居者個々の主治医に重度化や終末期に向けての方針を伺い対応に向けての方針や指針をたてる。  | 母体病院に入居者個々の主治医が居るので主治医の意見や方針等を確認しながら家族との話し合いを持ち、終末期や重度化に向けた支援体制の取り組みを行う。   | 12ヶ月       |
| 2        | 26   | 介護計画の作成時に本人、家族、他関係者から個別に意見を聞くなどのことはしているが、一緒に集まっての会議開催がないので今後は会議を持ち話し合いの中からそれぞれの意見やアイデアを介護計画に反映させていきたい。  | 本人 家族 必要な関係者へ 会議への参加協力をお願いして、定期的な会議開催が出来るように努める。  | 家族や他関係者との連携を密にし定期的な会議開催の実践が出来るように努め、チームとしての統一した介護計画の作成が出来るよう取り組んでいきたい。   | 6ヶ月        |
| 3        | 36   | 物的なプライバシー保護では、部屋のドアに 中の様子が観察できるガラスで作られた観察口があり、プライバシーと安全面の両方から観察口の大きさを検討中である。利用者の介護や接触では常に一人ひとりの人格を尊重した言葉遣いに心がけているが、訴えに対して感情的になることもあるので言葉遣いには注意を払うようにする。 | 観察口については利用者個々の状態を見ながら、観察口の大きさの調整が出来るように努める。日常生活や介護においてはプライバシーの確保や人格の尊重に心掛け、全職員が利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けや対応に努める。 | 観察口のガラスの隠しはプライバシーと安全面を考慮して、本人と相談しながら見栄えの良い物など工夫をこらした物を使うようにする。言葉遣いや対応では常に日常での尊厳やプライバシーについて意識し、職員同士で言葉遣いや対応等を指摘し合える関係づくりに取り組んでいく。 | 6ヶ月        |
| 4        | 40   | 食事の配膳や食器洗いは職員と利用者が一緒に行っているが、食事の盛り付けは職員だけで行っているため利用者のレベルアップや自立に向けての支援、食事時の楽しみを持たせる事から盛り付けを職員と一緒に出来るようにする。  | 食事の盛り付けはこれまで職員だけが行っていたので、利用者の能力を見極め力を活かしながら、職員と利用者が一緒に行い食事時の楽しみや関心をもたせるように働きかける。                              | 利用者個々の能力を見極め個々の力に合った役割りを見出し、盛り付けまで出来るよう働きかけゆくゆくは職員と一緒に調理まで出来るように支援する。  | 6ヶ月        |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。